名古屋大学
大学院生命農学研究科・農学部

2026年度第２回農場講演会を開催しました





2026年10月24日（土）、研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールドにおいて、2026年度第2回農場講演会を開催しました。

本講演会は2003年4月より継続して実施しており、今回は東郷町、名古屋大学教育学部附属中・高等学校、および愛知県立東郷高等学校との連携のもとで行われました。当日は附属中・高の生徒・教員39名、東郷高校の生徒・教員11名、東郷農学校の皆様をはじめとする一般6名の計56名が参加しました。

■ 講演：「ウイルスは味方にもなる？～昆虫のウイルスを理解して活かす～」
講師：名古屋大学大学院生命農学研究科 浜島りな 助教
講演では、昆虫ウイルスの基礎知識からそれを応用した最新の活用法まで、わかりやすく解説していただきました。質疑応答では参加生徒から熱心な質問が相次ぎ、活発な意見交換が行われました。
また、女性研究者としての大学生活やこれまでの研究の歩みについても紹介があり、進路を考える中高生、特に理系分野を目指す女子生徒にとって今後の指針となる貴重な機会となりました。

■ フィールド見学会
講演会終了後は、果樹園や野菜畑の管理状況を紹介しつつ、所内の施設見学会を実施しました。東郷フィールドのユニークな研究資産である「有機質肥料連用試験圃場」の見学をはじめ、イネの遺伝育種研究、UAV（ドローン）を用いた最新の圃場センシング技術、バイオマス作物としてのソルガム生産、大型家畜の生殖科学に関する先端研究など、各教員の研究現場を実物に触れながら体感していただきました。

東郷フィールドでは、今後も教育・研究活動を通じた地域貢献および次世代の人材育成に積極的に取り組んでまいります。